

鹿沼市自然体験交流センター「クマ対策」のお願い (学校等引率者用)

1 この資料の目的

この資料は、鹿沼市自然体験交流センターをご利用いただく学校等の引率教員の皆さまに、クマ出没に関する基本的な知識と、本センターでの安全な活動のための留意点をお伝えするものです。

鹿沼市内では近年、クマの目撃や人身事故が発生しており、市としても注意喚起や通報体制の整備を進めています。

2 センター周辺のクマ出没状況と基本認識

センター周辺は、栃木県ツキノワグマ管理計画においてクマの生息域とされている地域に含まれています。

クマは本来、人を避ける傾向がありますが、餌不足や人里への慣れなどにより、住宅地や学校の近くに出没する事例も増えています。

引率教員の皆さまには、次の点をご理解ください。

- ・クマ出没のリスクをゼロにすることはできません。
- ・適切な準備と行動により、遭遇や被害の可能性を下げることができます。
- ・いざというときに備えた共通認識を、事前に持つておくことが重要です。

3 来所前に確認していただきたいこと

(1) 学校内での共有事項

出発前に、学校内で次の点をご確認ください。

- ・学校としての安全管理方針と、本センターでの活動計画との整合性
- ・参加児童生徒の健康状態、配慮が必要な児童生徒の把握
- ・緊急連絡体制（学校・保護者）の確認
- ・クマ対策は、熱中症・転倒事故等と同様に、総合的なリスク管理の一部として位置付けていただくことを想定しています。

(2) 児童生徒への事前指導のお願い

事前学習等で、次のような内容を簡潔に伝えていただくと、現地での指導がスムーズになります。

事前学習用の資料を別途準備してありますのでご利用ください。

- ・ 森はクマなど野生動物の「すみか」であること
- ・ 一人で行動せず、列から離れないこと
- ・ 職員や先生の指示をよく聞き、守ること
- ・ 食べ物やごみを外に放置しないこと

4 センター滞在中の基本ルール（教員の皆さまへ）

(1) 食べ物・ごみの管理

- ・ クマを誘引しないための最も重要なポイントは、食べ物と生ごみの管理です。
- ・ 食品などの持ち歩きは最小限とし、ポケットやテント内に残さないよう指導をお願いします。
- ・ 飲食はセンターが指定した場所・時間に限り、食べ残しや容器は速やかに回収してください。
- ・ 分別や集積場所については、到着後にセンター職員から説明しますので、その指示に従ってください。

(2) 行動範囲と単独行動の禁止

- ・ 活動で使用するコース・エリアは、事前にセンター職員と確認してください。
- ・ 設定コースから外れての「寄り道」や、少人数での単独行動はさせないようにご注意ください。
- ・ 職員・教員ともに、できる限り二人以上での行動を心がけてください。

(3) 時間帯と活動内容

- ・ クマの活動が活発になりやすい早朝・夕方は、特に慎重な行動が求められます。
- ・ この時間帯の屋外活動は、センター職員の判断・助言を踏まえて実施の可否を決定します。
- ・ 視界が悪い場所や音が届きにくい場所での活動では、列の前後に大人が配置されているかをご確認ください。

5 クマを「見かけたとき」「出会ってしまったとき」

(1) クマを見かけたとき

児童生徒がクマを見かけた場合、まずは「近づかない」ことが最重要です。
引率教員としてお願いしたい行動は次のとおりです。

- ・子どもたちをクマから遠ざける方向へ静かに移動させる（走らせない）。
- ・その場で大声を出してクマを刺激しない。
- ・見かけた場所・時間・頭数・様子などを可能な範囲で把握し、速やかにセンター職員へ報告する。
- ・教員の皆さまは子どもの安全確保と情報提供にご協力ください。

(2) 至近距離で出会ってしまったとき

万一、グループが至近距離でクマと出会ってしまった場合は、次のような行動が推奨されています。

- ・走って逃げない、背を向けないよう指示する。
- ・叫んだり、石を投げたりして追い払おうとしない。
- ・児童生徒をまとめて一方向に集め、教員はできるだけクマとの間に立つ形で、ゆっくりと後退する。

安全な距離を確保したら、センター職員へ携帯等で連絡し、以後の対応を一任する。子グマを見かけた場合は、近くに母グマがいる可能性が高いため、絶対に近づかないよう厳重な指導をお願いします。

6 事故発生時の役割分担

クマによる負傷など重大な事故が発生した場合、センターは救急要請・関係機関への連絡・施設全体の指揮を行います。

引率教員の皆さまにお願いしたい主な役割は次のとおりです。

- ・自校児童生徒の安否確認・人数確認（名簿と照合）
- ・負傷した児童生徒がいる場合の、センター職員との連携による応急対応
- ・学校および保護者への連絡（学校の危機管理マニュアルに従って実施）
- ・児童生徒への声かけ・心身のケア

7 事前打ち合わせとご相談について

ご利用にあたり、クマ対策を含む安全管理について不安な点がありましたら、事前打ち合わせの際に遠慮なくご相談ください。

- ・活動コースの危険箇所や代替案
- ・児童生徒の特性に応じた配慮点
- ・夜間の見回り体制や宿泊形態に応じた注意点

など、センターの情報とこれまでの事例を踏まえて、一緒に検討いたします。

8 最後に

クマ対策は、教員の皆さま、児童生徒、センター職員が協力して取り組むことで、より確かなものになります。

安全を第一にしつつ、豊かな自然の中での学びが実り多いものとなるよう、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。

【参考】

1 センター職員の携行品

場 面	クマ鈴	笛	クマ撃退スプレー
センター内で活動するとき (昼間)	○	○	
センター内で活動するとき (早朝・夕方 または林間コース利用)	○	○	○
センター外で活動するとき (ウォークラリー、久保田堀見学)	○	○	○

2 クマ目撃・被害情報による対応基準

目撃・被害情報	安全体制強化	利用者への注意喚起	活動範囲と時間
鹿沼市内 (板荷地区外)	センター外での活動時に、クマ鈴を携行させる。	入所の際に、注意点を知らせる。	野外活動の制限なし
板荷地区 (主な活動エリア外)	林間コース及びセンター外での活動をする場合は、全員がクマ鈴を携行する	全参加者に、野外活動ごとに注意喚起を行う。	センター内活動制限なし センター外活動は9時～16時まで
板荷地区 (主な活動エリア内)	野外活動全て、全員にクマ鈴を携行させる。	全参加者に、野外活動ごとに注意喚起を行う。	センター内活動(野外炊事場、芝生広場は除く)は9時～16時まで 林間及びセンター外活動は、活動の変更を推奨する。
センター内目撃			屋内活動のみ
センター内被害			中止